



上海

# NCB 海外レポート

## 『中国社会』 デジタル化最新事情 ⑫

### ～中国で浸透する最新のスマホ地図アプリについて～

#### ◇ はじめに

- 中国では、多くの人々が目的地までのナビゲーションツールとして、スマートフォンの地図アプリ（以下、地図アプリ）を活用しており、その機能やサービスは日進月歩で進化しています。今回は、そんな成長著しい中国の地図アプリに注目し、主要な地図アプリやその最新機能についてご紹介します。

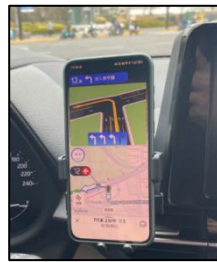
#### ◇ 中国の地図アプリについて

- 中国には、現地 IT 企業が開発した複数の地図アプリがありますが、そのなかでも、アリババグループの高徳ソフト社が開発した「高徳地図」と百度社の「百度地図」が有名です。
- 現地調査会社「向普コンサルグループ」の調査報告書によると、2022年の中国における地図アプリの市場規模は、104.5億元（約2,090億円）であり、2023年には113.8億元（約2,276億円）まで拡大しています。
- また、同報告書では、2022年6月の月間アクティブユーザー数が掲載されており、高徳地図が7.2億人（前年比+0.9億人）、百度地図が5.2億人（前年比+0.4億人）といずれも増加傾向にあります。

#### ◇ 進化する中国の地図アプリ機能

- 中国の地図アプリは、日々新たな機能が追加されています。特に、2022年12月に高徳地図が開発した「車道の信号機の秒数表示機能」は、運転手のストレス軽減や車両運転時の利便性の向上に大きく貢献しています。また、衛星からの車両位置情報の取得により、推奨速度や周辺の混雑状況といった最新情報をリアルタイムで把握することができます。

- 更に、地図アプリという側面に留まらず、アプリ内で周辺観光地を表示し、チケットの購入や宿泊施設の予約ができるなど、交通面以外のサービスが充実していることも魅力の一つです。



車内での利用状況



高徳地図の画面



百度地図の画面

(速度や信号機の秒数を表示) (推奨道路や低速区間を表示)

#### ◇ まとめ

- 本稿で取り上げた中国の地図アプリは、いまや当地において車両や徒歩等での移動時に欠かせないツールとなっています。また、同アプリを開発する現地 IT 企業では、ユーザーのニーズをいち早くキャッチし、新たな機能を開発することで、人々の移動時の利便性向上に貢献しています。
- 今後も中国の地図アプリは、AIやビッグデータなどの最新技術をさらに活用し、正確性が求められる自動運転にも対応していくことが予想されます。

2024年4月3日作成

西日本シティ銀行 上海駐在員事務所